

# 湖南市の防災に関する動向（8月20日～10月14日）

## ■湖南市総合防災訓練を実施（10月4日（日））

湖南市は、10月4日（日）、市役所東庁舎公用車駐車場および三雲小学校体育館において令和2年度湖南市総合防災訓練を実施しました。

市役所東庁舎公用車駐車場で実施された訓練では、地震により庁舎が被災、使用不能となった場合を想定し、公用車駐車場を活用した災害対策本部の設営について検証を行ったほか、市内8カ所の地区連絡所と情報連携訓練を行いました。

災害対策本部の設営に当たり、8月に協定を締結した三菱自動車工業株式会社からPHEV車の提供を受け、照明の確保を行いました。

また、陸上自衛隊から連絡員（リエゾン）の派遣を受けたとの想定に基づき、消防署北側駐車場にて指揮所（テント）が設置され、職員による見学、意見交換がなされました。

三雲小学校においては、健康福祉部主催で新型コロナウイルス感染症脅威下における避難所開設・運営訓練を実施し、市職員約170名が参加しました。

受付要領、動線の確保、一般避難スペースにおける間仕切りの設置、隔離スペースの設置等が実施され、有事の際には避難所支援に当たることが想定される福祉部局職員の対応能力向上を図りました。

## ■岩根まちづくり協議会が避難所開設・運営訓練を実施（9月13日）

岩根まちづくり協議会が、9月13日（日）に新型コロナウイルス感染症脅威下における避難所開設・運営訓練を実施しました。

前段は岩根まちづくり協議会所属の防災士（健康政策課：米津課長補佐）による講座を実施し、感染症対策を取り入れた避難所の運営について知識を深められました。

後段では実際に受付から避難スペースの設営までの一連の流れを実習し、新型コロナウイルス感染症脅威下における避難所運営の難しさを実感しておられました。

## ■湖南市社協が災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施（9月26日）

湖南市社会福祉協議会が、9月26日（日）に災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施されました。新型コロナウイルス感染症の脅威下において、いわゆる3密、ソーシャルディスタンスの確保に気を付けながら災害ボランティアの受付、マッチング、資器材の配分を行われました。

## ■石部まちづくり協議会が「石部まもりんぴっく」を開催（10月11日）

石部学区まちづくり協議会が、10月11日（日）に「石部まもりんぴっく」を開催されました。毎年開催されているもので、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、対象を区役員等に限定し、規模を縮小して実施されました。

石部文化ホールにおいて市消防団第4分団長による家庭内防災に関する講義、湖南市危機管理局管理監による新型コロナウイルス感染症脅威下における避難所運営に関する講義が実施されました。

また、エントランス内では非常食、段ボール間仕切り・ベッドなど各種防災グッズの展示が行われました。